

指導計画例

発達の道筋	・・・P29
年間指導計画(4歳児)	・・・P30
学期指導計画(2歳児)	・・・P31
月指導計画(0歳児)	・・・P32
週・日指導計画(1歳児)	・・・P33
〃 (3歳児)	・・・P34
〃 (5歳児)	・・・P35
〃 (異年齢保育)	・・・P36

本事業を通して作成された他の指導計画等については、広島県教育委員会・幼児教育のホームページに掲載しております。
ぜひ、参考にしてください。



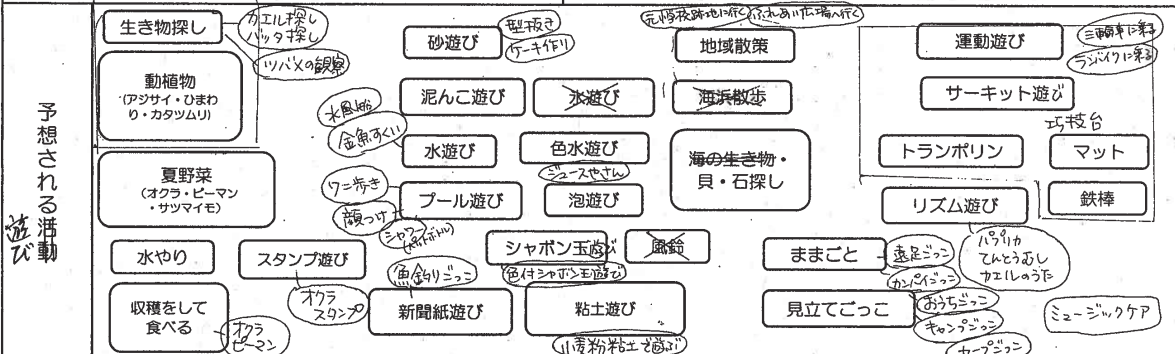
URL: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-01-hoiku.html>

年間指導計画（4歳児）		年間教育・保育目標			
		○身近な人と親しみ、かかわりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動し、社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。 ○自然や社会事象に親しむ中で、様々な事象に興味関心をもち、友達と共通の目的を見出し、物事をやり遂げようとする。			
期	I期（4・5月）	II期（6・7・8月）	III期（9・10・11・12月）	IV期（1・2・3月）	
ねらい (教育・保育)内容	<ul style="list-style-type: none"> ○戸外で体を動かし、解放感を味わう。 ○自分でしたい遊びを見つけ、友達や保育教諭と触れ合って遊ぶことを楽しむ。 ○身近な動植物や自然に触れたり見たりしながら、春の自然を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と思いきり体を動かし、運動遊びやルールのある遊びを楽しむ。 ○友達と思いを伝え合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○身近な自然や環境に興味や関心をもち、自然物を活かして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な運動遊びに興味をもって、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 ○友達と思いや考えを出し合い、イメージを共有したり広げたりしながら遊ぶ。 ○身近な自然の美しさや、季節の移り変わりに気付き、遊びに取り入れて楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な運動遊びに目当てをもち、継続して取り組む。 ○友達と感じたことを言葉で伝えながら、共通の目的をもって遊ぶ。 ○身近な季節の変化に興味や関心を深め、感じたり、試したりして遊ぶ。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな遊びの中で、友達や保育教諭と一緒に体を十分に動かして遊ぶ。 ・用具や遊具の安全な使い方や遊び方を知り、ルールを守ろうとする。 ・友達と誘い合って、好きな遊びを楽しむ。 ・春の自然の中で遊んだり、身近な動植物に触れたりして、興味や関心をもち。 ・自分の気持ちや要求などを、自分なりの言葉で伝えようとする。 ・ごっこ遊びや制作遊びなどで、イメージしたことを自分なりに表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨期や夏の生活の仕方を知り、健康や安全に気を付けて生活をする。 ・友達と一緒に体を動かしたり、開放感を感じたりしながら水遊びやプール遊びなど、ダイナミックな遊びを楽しむ。 ・水、泥、砂、海藻、貝殻、草花、夏野菜など、様々な自然に自ら関わり、遊びに取り入れ自然の不思議さや面白さに気付く。 ・遊びの中で、自分の思ったことや経験したことを友達に伝え、友達の思いも聞こうとすることで、友達と一緒に活動する楽しさを味わう。 ・いろいろな素材、材料、用具に親しみ、かいたりつくったりして自分なりの方法で表現する。 ・友達と一緒に季節の歌を歌ったり、体で表現したりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定遊具や巧技台、ポールなど、いろいろな遊具や用具を使い、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・遊びや生活のなかで、自分なりの考えを出したり、友達の思いを聞こうとしたりする。 ・自然の移り変わりや季節の変化に興味や関心をもち、遊びに取り入れながら、自然の不思議さや面白さに気付く。 ・文字や数を用いた遊びを取り入れたり、生活の中で物の数を数えたり、文字や記号を使ったりすることを楽しむ。 ・友達と一緒に音楽に合わせて歌ったり、自分なりのイメージをもっていろいろな動きを表現したりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が身に付き、自分から進んでしようとする。 ・友達や異年齢児と関わりながら、戸外や室内で全身使って伸び伸びと遊ぶ。 ・友達と共通の目的をもって遊びや活動に取り組む。 ・自然事象に興味や関心をもち、気付いたことを伝えたり、遊びに取り入れたりする。 ・数、量、形、文字に興味や関心をもち、生活や遊びに取り入れる。 ・友達と考えを出し合い、一緒にいろいろな物を作ったり、飾ったりする。 ・いろいろな素材を使ってイメージを広げながら、自分でかいたりつくったりした物で遊ぶことを楽しむ。 	
予想される遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊び（固定遊具、リズム遊び） ・集団遊び（鬼ごっこ、しっぽとり、椅子取りゲーム、ジャンケン列車） ・自然物遊び（草花を使った見立て遊び、泥だんご作り、砂場遊び） ・菜園活動（夏野菜の苗や種を植える） ・表現遊び（生き物探し、絵画、制作遊び） ・地域探検 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊び（固定遊具、リズム遊び、縄跳び） ・集団遊び（鬼ごっこ、しっぽとり、椅子取りゲーム、ジャンケン列車） ・自然物遊び（草花を使った見立て遊び、泥だんご作り、砂場遊び） ・菜園活動（トマト、ゴーヤ、朝顔、サツマイモの苗植え） ・表現遊び（生き物探し、絵画、制作遊び、フィンガーペインティング、デカルコマニー） ・地域探検 ・水遊び（色水遊び、水鉄砲、しゃぼん玉、泡遊び、プール遊び） 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊び（固定遊具、リズム遊び、縄跳び、サーキット遊び、マラソン） ・集団遊び（サッカー、転がしドッジ、鬼ごっこ） ・自然物遊び（落ち葉や木の実を使ったごっこ遊びや制作遊び） ・菜園活動（タマネギの苗植え、サツマイモの収穫、チューリップの球根植え） ・表現遊び（生き物探し、絵画、制作遊び、劇遊び、楽器遊び） ・地域探検 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊び（固定遊具、リズム遊び、縄跳び、サーキット遊び、マラソン） ・集団遊び（サッカー、転がしドッジ、ドッジボール、鬼ごっこ） ・自然物遊び（氷作り、霜集め） ・菜園活動（タマネギの水やり） ・表現遊び（生き物探し、絵画、制作遊び、劇遊び、楽器遊び） ・地域探検（初祈禱、ふれあい広場、公園、公園・テレビ塔、獅子舞見学、沿いの水仙畑） ・伝承遊び（凧揚げ、ゴマ、カルタ、あやとり、竹馬） ・絵画（絵の具を使って描く、貼り絵） ・異年齢交流（給食交流、年長児の当番活動の引き継ぎ） 	
行事	<ul style="list-style-type: none"> ・安全の日・交通安全指導集会・誕生会・身体測定・避難訓練・わくわく体操・始業式・終業式 ・入園進級式・家庭訪問・慣らし保育・園庭開放 ・子ども読書の日・春の遠足・保育参観日 ・キッズサッカー・耳鼻科検診 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の衛生指導集会・サツマイモの苗植え・歯科検診 ・眼科検診・プール開き・七夕集会・まつり ・個人懇談・登園日・いのちの集い・サマーフェスティバル・夏祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会・運動会・交流・キッズサッカー ・内科検診・まつり・幼年サッカー大会 ・保育参観日・秋の遠足・サツマイモの収穫・防火訓練 ・発表会・カブラ・クリスマス会 	<ul style="list-style-type: none"> ・初祈禱・伝承遊び・防火教室・キッズサッカー ・節分・美術館・保育参観日・幼児交通安全教室 ・お別れ会・内科検診・修了式・卒園式 	
中地と地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域探検や遠足を通して、地域の自然に触れたり、地域の方と挨拶を交わしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りへ園児と一緒に参加し、保護者の感想を出してもらい園行事に対する連携を深める。 ・地域の人から甘夏をもらったお礼をすることで、連携を深める。 ・地域探検に出かけ、地域の自然に触れたり、地域の方と挨拶を交わしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域探検に出かけ、地域の自然に触れたり、地域の方と挨拶を交わしたりする。 ・敬老会への参加やとの交流を通して、地域の方との触れ合いをもつ。 ・中学校職場体験を通して交流をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域探検に出かけ、地域の自然に触れたり、地域の方と挨拶を交わしたりする。 ・伝統的な遊びを地域の人と楽しむ機会を作り、地域の人と触れ合ったり、交流をもつ。 ・地域の人いただいた八朔や甘夏を食べたり、お礼をしったりすることで地域の人との交流を深める。 	
子育ての支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園や家庭での園児の様子を伝えたり、家庭訪問を通したりして、健康状態を把握したり、緊急時の連絡方法などを確認し合ったりする。 ・健康カードの取り組みの目的を伝え、家庭で取り組んでもらうようお願いする。 ・クラス便り・遊びの記録等のお知らせを配布・掲示し、園内活動や園児の様子を知らせていく。 ・園庭開放に来園された地域の方が、保育室で一緒に生活体験をしたり、戸外で一緒に遊んだり、園の雰囲気を感じたり、様々な友達と関わったりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨期の健康管理について保護者と話をしたり、健康カードで確認したりする。 ・プールカードのチェックを保護者にしてもらい、安全に楽しくプール遊びができるようにする。 ・個人懇談では、園生生活の様子を具体的に知らせ成長を振り返ると共に、課題や関わりなど共通認識ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調を崩しやすい時期なので家庭でも、手洗い、うがいを徹底してもらい、風邪やインフルエンザの予防について呼びかける。 ・運動会に向けての取り組みと成長したところなど、掲示やおたよりなども使いながら伝え、当日の姿だけでなく、それまでの過程が大切であることを伝える。 ・参観日で、親子で楽しく過ごせる活動の工夫をしたり、保護者同士の交流の場となるように働きかけをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人懇談、保育参観、クラス懇談を通して、園での活動内容や園児の育ちを話し合い、改めて園の保育目標を伝え共通理解を深める。 ・感染予防について家庭に伝え、園児の体調や生活リズムに関する情報交換を密に行い、園での感染情報も目に付くところに掲示していく。 ・年長になる事への喜びや期待を共有しながら、一年間の成長を共に成長を喜び合い、課題や関わり方等共通理解を図り、次年度へ繋げていく。 	

期指導計画 2歳児

Ⅱ期	6月～8月
園児の姿 (発達の姿)	<ul style="list-style-type: none"> ○開放感を味わいながら裸足になって、土や泥の感触を楽しんだり、運動遊具を使って伸び伸びと体を動かして遊んだりすることを楽しんでいる。 ○好きな遊びを見つけ、友達と一緒にごっこ遊びや見立て遊びをして遊ぶことを楽しむようになる。物の貸し借りでトラブルになることもあるが、自分の思いを言葉やしぐさで伝えられるようになってきている。 ○夏の自然事象に触れながら、夏ならではの遊びに興味を持ち、心地よさや面白さを感じながら遊ぶことを喜んでいる。
期のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○自分から体を動かし、やってみようとする。 ○安心して自分の思いや欲求を伝え、言葉で表現する。 ○夏の自然や遊びを通して、友達のしていることに興味をもって遊ぶ。

	経験させたい内容	環境構成・援助
養護	<ul style="list-style-type: none"> ●活動と休息のバランスに留意しながら、健康で快適に過ごせるようにする。 ●子どもとの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して言葉や態度で表出できるようにする。 ●保育教諭に見守られながら、自分のすることが分かり、できることは自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆快適に過ごせるよう、休息や水分補給やシャワーの時間を作ったり環境作りを行ったりする。 ◆いつでも自分の気持ちを保育教諭に伝えられるように、子どもの気持ちや訴えをていねいに受け止め、安心できる雰囲気作りをする。 ◆出来ることが増える喜びを味わえるように、やってみたいと思えるような環境作りを行う。 ★着替えや水分補給を必要に応じて行い、休息と活動のバランスに気を付ける。 ★子ども同士のおつきあいは様子を見守り、両者の思いを十分に受け止め、言葉にして伝える。 ★時間を十分にとりゆったりと関わっていき、自分でしようとする気持ちを大切にしていく。
教育・保育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)	<ul style="list-style-type: none"> ・開放感を感じながら、プール遊びや運動遊びなど、ダイナミックに体を動かして遊ぶ。(健康) ・保育教諭を仲立ちとしながら、気の合った友達と一緒に遊ぶ。(人間関係) ・身近な自然や素材(水・泥・泡など)に触れることを楽しんだり、試したりして遊ぶ。(環境) ・自分の思いを言葉で伝えようとし、気持ちが通い合う心地よさを感じる。(言葉) ・見立てやごっこ遊びを通してイメージの世界を楽しむ。(表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ダイナミックに遊びを楽しめるように、水や泥に思いっきり触れる機会を作ったり、汚れてもよい服や遊びの用具を用意したりする。 ◇思いを受け止めてもらう安心感や気持ちが通い合う心地よさを感じられるように、言葉の表出をゆったり待つ時間をもつ。 ◇夏の自然や様々な素材に興味をもてるように、見たり触れたりする時間を作ったり、表現して遊ぶ楽しさが味わえるような環境を用意したりする。 ★開放感の味わえる遊びを取り入れ、様々な素材に触れながらダイナミックに遊びを楽しめるようにする。 ★友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるように、保育教諭が仲立ちとなり関わりをつなげていく。 ★興味があるものを見つけている子どもの姿を捉え、楽しさや喜びを共感していく。 ★保育教諭がしぐさや表情を汲み取りながら、「貸して」「どうぞ」「ありがとう」など自分の思いを言葉で友達に伝えられるように仲立ちしていく。 ★身近な生活経験から、模倣やごっこ遊びに広げていけるように関わっていく。



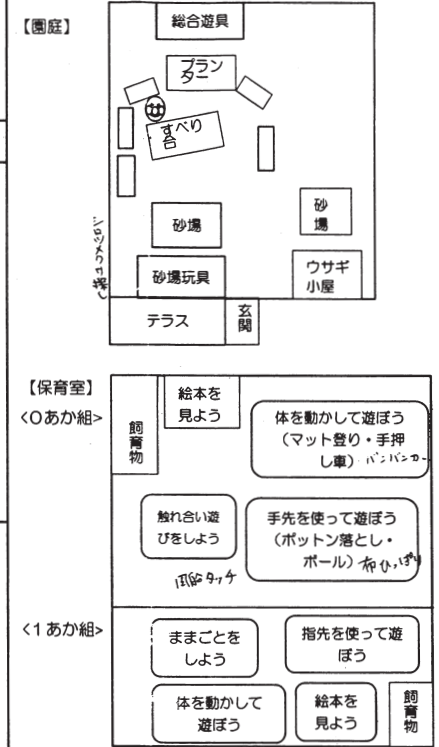
保育資料 (教材・絵本等)	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本(やさいのおなか、うんちがぼとん、しままのパンツ、10びきのかえる、こぐまちゃんのみずあそび、) ○歌(かえるのがっしょう、かたつむり、とけいのうた、長靴マーチ、たなばた、アイスクリーム、みずあそび、おばけなんてないさ) ○手遊び(あがりめさがりめ、きゅうりはきぬ、カラーライス、さかながはなて、ワニのおやこ、かみなりドンドン) ○制作(あじさい・カエル・七夕飾り・カニ・クワガタ) ○運動遊び(プール・サーキット) ○菜園活動(オクラ・ピーマン・サツマイモ)
行事	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の衛生指導集会 ・さつま芋の苗植え ・歯科検診 ・プール開き ・七夕集会 ・個人懇談 ・●●●の集い ・●●●園祭り ・●●●夏祭り
健康・食育・安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の畑の栽培物(オクラ・ピーマン・サツマイモ)の生長を知らせ、関心を持てるようにする。 ・栽培した物を調理して食べ、食への意欲や関心につなげていく。 ・夏に多い皮膚疾患や感染症をおたよりで知らせ、症状が見られた時には早目に対応してもらおう。 ・夏の疲れが出やすい時期なので、食欲や体調など細かに伝え合い、生活リズムを整えて健康に過ごせるようにする。
家庭の連携・保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の感染症について症状や予防法、感染時の園の対応について連携を持つ。 ・安全で健康的にプール遊びに参加できるように、連絡ノートを通して家庭との連携をとり、健康状況に留意する。 ・着替えが煩雑になるので、衣服の記名や着脱しやすい衣服について連携を持つ。 ・個人懇談では、子どもの成長を保護者と共に喜び合い、家庭の様子や子育ての悩みなどをしっかりと聞き、丁寧に伝えていく。
地域・小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加したり、散歩にでかけたりして、地域に親しむ。 ・夏祭りに1年生を招待し、交流を持つ。 ・●●●集いに地域の方(●●●)に来てもらい、読み聞かせをしてもらう。 【地域散策】・●●●(砂の感触を楽しむ、貝殻やシーグラス拾い、海の生き物探し)・あじさい畑(梅雨期の花を知る)
ねらいに対する評価	<p>春から続いている生き物を見つけたり飼育したりする実体験からイメージが広がり、表現するかなりに表現遊びやごっこ遊びへとつながっていった。一人一人が興味のある遊びを楽しむようになり、子どもの姿から新しい遊びを取り入れることで遊びが広がっていった。一人一人の姿から遊びを再構成することで遊びが広がり、友達とのやり取りを楽しんだり相手の思いや優しい姿が見られるようになりつつある。一人一人の気持ちを丁寧に受け止めていったことで安心や言葉につながってきている。</p>

月指導計画 0歳児

園長	副園長	主任	担当	園長	副園長	主任	担当

5月のねらい

<p>★ 保育 教諭の 援助</p>	<p>●一人一人の生活リズムを大切に、保護者と連携しながら新しい環境に慣れるようにする。 ●新しい環境による不安な気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにする。</p>	<p>○個々に合った生活リズムで過ごしなが、すすんで這う、歩くなど体を動かす。 ○保育教諭と触れ合いながら安心して過ごし表情や仕草で自分の思いを表す。 ○身近な環境に親しみ、見たり触れたりすることで、表現を豊かにする。</p>
<p>★ 保育 教諭の 援助</p>	<p>◆快適に過ごせるように、保育室や玩具を清潔に保ち、室温・湿度の調節や換気をこまめにする。 ◆園児が安心して遊べるように玩具を用意し、落ち着いた雰囲気をつくる。 ★一人一人の発達に合わせて、ゆったりと関わり合い、安心して過ごせるようにする。 ★子どもの欲求にこたえ、言葉がけをし抱っこやスキンシップ・触れ合い遊びを通して安心感を得られるようにする。</p>	<p>○予想される遊び ★保育教諭の援助 ・環境構成</p>
<p>児（一歳〇か月）</p>	<p>先月の園児の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭がマグマグに手を添えて促すと自分で持って飲もうとする。 ・すり違いをしながら、保育教諭の所や興味をもった玩具の所へ行こうとする。 <p>・育ちに対するねらい ★保育教諭の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグマグの持ち手を自分で持って飲んだり、手でつまんで食べようとしたりする。 ・保育教諭に見守られることで安心して、探索活動や体を動かすことを楽しむ。 <p>★マグマグの持ち手に一緒に手を添え、自分で持つことを知らせながら「自分で」の意欲を育てる。 ★少し離れた所から名前を呼び、ハイハイを促し、しっかりと体を動かせるようにする。</p>	<p>◇個々に合った生活リズムで過ごしなが、すすんで這う、歩くなど体を動かすことができるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つかまり立ちや伝い歩きができるように、手押し車やバンバンカーなど、歩行を促すことができる玩具を準備しておく。 ○戸外遊び（すべり台・ボール） ○室内遊び（マット登り・手押し車・階段登り・園内探索など） ★ボールや転がる玩具などを準備して動きを誘いかけ、行きたい所へ行ける喜びを味わえるようにする。マットの山を乗り越えるなど四つ這いに繋がる遊びを楽しむようにする。 ★保育教諭も同じ姿勢で一緒に遊び、体を動かして遊ぶ楽しさに共感していく。 <p>◇保育教諭と触れ合いながら安心して過ごし表情や仕草で自分の思いが表せるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心地良く遊べるように、音楽を流したり、明るい部屋で風を通したりする。 ・安心して喃語を発することができるように、和やかな雰囲気を作る。 ○触れ合い遊び ○歌を歌う ○絵本を見る ○パピーマッサージ <すべり遊び> ★表情やしぐさ、喃語を受け止め、目を合わせ、触れたり、言葉を添えたりして、応答的に関わる。 ★目を見て優しい笑顔で話しかけたり、スキンシップを図ったりすることで、保育教諭との関わりを喜べるようにする。
<p>児（一歳〇か月）</p>	<p>・おやつはよく食べるが、給食は一定量食べると進まなくなる。 ・つかまり立ちをしたり、階段を登ったりしながら探索することを楽しんでいる。</p> <p>・様々な食品の味に慣れ、食事を楽しむ。 ・伝い歩きや自分で立って歩こうとすることを楽しむ。</p> <p>★「もくもく」などと声をかけ、保育教諭も一緒に食事をするので、楽しい雰囲気でき食事ができるようにする。 ★伝い歩きや立って歩けたときは一緒に喜び、気持ち共有することで楽しめるようにする。</p>	<p>◇身近な環境に親しみ、見たり触れたりすることで、表現を豊かにすることができるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室でも日差しや暖かい風が感じられるように、窓を開け開放感が味わえるようにする。 ○戸外遊び（砂遊び・バンバンカー・園庭散策） ○地域散策（ 広場・魚屋の) ★戸外に出た際は、草花や生き物に触れてみせながら「きれいだね」などと言葉をかけ、身の回りの自然を感じ、楽しめるようにする。
<p>健康・安全・食育</p>	<p>一人一人の健康を丁寧に観察し変化が見られた時は、早めに対応する。 ・外気浴をする場合は日照や気温・紫外線に留意する。 ・睡眠中は子どもの様子をこまめに観察し、SIDSの予防に努める ・保育室の遊具や玩具は清潔に保ち、口に入れてしまうと危険なものは置かないようにする。 ・様々な食材や形状に慣れ、食事の時間が楽しい時間となるようにする。</p>	<p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放 ・春の遠足・保育参観日 ・眼科検診 <p>の地域連携と</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広場（芝生の上を這ったり歩いたりする） ・魚屋の （魚を見に行く） <p>保家護庭者と支の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の健康状態・発達過程について連絡をこまめにとり、家庭との情報交換をしていく。 ・気温が高くなっていくので調節、着脱しやすい衣服の準備をしてもらう。 ・疲れが出やすい時期であることを伝え、子どもの体調について連携を図る。 <p>対★すねるら評い面に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠くへ行く距離が長くなり、行動範囲も広がり、音や声のする方へ自分から進んでいく。探索するのを楽しむようになった。 ・果物や野菜以外の保育教諭にも慣れ、声かけを受けたり、虫を見せたり、たのびると手を伸ばして、開こうとするようになった。



園長	副園長	担当	園長	副園長	担当

検印

先週の園児の姿	<p>感じる・気付く力 うごく力 考える力 やりぬく力 人とかかわる力</p> <p>○好きな乗り物(三輪車・バンバンカー)を自分で選び、乗り物倉庫から、友達の後をついて総合遊具まで行った。3歳児の子が乗っている2人乗り三輪車の後ろに乗せてもらったり、ブランコに乗ることを楽しんだ。</p> <p>○保育教諭と友達と一緒に、外の乗り物倉庫へ行き、「どれに乗る?」と聞いてみるとバンバンカーの方を指差す。「赤い車?」と聞くと、「いや」「青い車?」「いや」「黄色い車?」「うん」と自分の思いを言葉で知らせ、自分で乗りたい車を選んで乗って遊んだ。自分で選んだことで満足感をもち、十分乗って遊んだ後は、「ナイナイ(片付けて)」と保育教諭の所に持ってくる事ができた。</p> <p>○職員室の前にあるミカンを見つけて「みかんあった!」と教えてくれる。「職員室の先生に、ミカンちょうだいって言ってもらおうね?」と言葉をかけると、職員室を覗いて「ちょうだい!」と言ってもらうことができた。もらったミカンをポケットに入れたり、いつも遊んでいるカゴやお散歩バッグを思い出して、保育室から持って来たりして大きさを選びながらたくさん詰め込み「おもたいてい おもたいてい」と言いながら持って歩くことを楽しんでいた。</p>	<p>○月のねらい</p> <p>○生活の流れがわかり、保育教諭や友達と一緒に、全身を使って遊ぶことを楽しむ。</p> <p>○保育教諭に思いを受けとめてもらいながら、簡単な言葉で自分の思いを伝えようとする。</p> <p>○身近な自然を感じながら、自分なりに表現することを楽しむ。</p>
	<p>○週のねらい・内容</p> <p>○保育教諭や友達と一緒に、体を使って遊ぶ楽しさを感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 異年齢児と関わりながら、固定遊具や乗り物・砂場で遊ぶ。遊びを見たり真似したり一緒に遊ぶたり。 保育教諭や友達と一緒に、ソフトブロックを組み合わせて道や階段・車を作って遊ぶ。 <p>○好きな遊びを通して、保育教諭や友達とやり取りを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや伝えたいことを受け止めてもらいながら、欲しいものを指差ししたり「ぶーぶー」など簡単な言葉で伝えたりする。 <p>○保育教諭や友達と一緒に歌ったり簡単な言葉のやり取りをしたりして遊ぶことを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌いながらドラムマラカスを振ったり、絵本を通して簡単な言葉のやり取りをしたりする。 	

<p>生命の保持 ●衛生面や健康面に留意して、快適に過ごせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆快適に過ごせるよう、室内の温度や湿度に留意する。 ★気温や活動に合わせて衣服の調節を行い、快適に過ごせるようにする。 	<p>情緒の安定 ●保育教諭との安心できる関係の中で、意欲的に過ごせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆園児が安心して遊びたいもので遊べるように玩具の種類や数、場所を用意する。 ★一人一人の欲求が十分に満たされるように関わる。
---	---

<p>◎身の回りのことに興味をもち、自分でやってみようとする。(低)</p> <p>◆身の回りのことに興味をもち、やってみたいと思うように環境を整える。</p>	<p>◎自分から身の回りのことをやってみようとする。(高)</p> <p>★「自分で」という気持ちを大切に、できない所はさりげなく援助しながら「できた」という満足感を味わえるようにして自分でしようとする気持ちを育てていく。</p>
--	---

<p>生活習慣</p> <p>低月齢</p> <p>食卓</p> <p>○フォークやスプーンでこぼしながらも自分で食べる。</p> <p>◇自分で食べられるように、園児の食事量に合わせて量を調節して配膳する。</p> <p>☆自分で食べている姿を道徳め、食べきる満足感が味わえるようにする。</p>	<p>高月齢</p> <p>食卓</p> <p>○お皿に手を添えながら自分で食べる。</p> <p>◇自分で食べられるように、園児の食事量に合わせて量を調節して配膳する。</p> <p>☆「手でお皿を持って食べているね」とお皿に手を添えている姿を認め、自分で食べている満足感が味わえるようにする。</p>
---	--

<p>教育・保育</p> <p>☆○◇環境の遊具構成の援助</p> <p>好きな遊びを通して、保育教諭や友達とやり取りが楽しめるように</p> <p>◇見立て遊びが楽しめるように、トラックや人形を用意しておく。</p> <p>○トラックを走らせよう ○おうちごっこ ○カートを押そう</p> <p>☆保育教諭も一緒に遊びながら、「かして」「どうぞ」などの言葉のやり取りの仕方をして見せたり一緒にしたりして友達と遊ぶ心地よさが感じられるようにする。</p> <p>☆「いってらっしゃーい」「ピンポン!」など園児の遊んでいる姿を言葉にして、言葉と経験がつながるようにする。</p> <p>☆友達と遊ぶ姿に興味をもち、関わりがもてるように友達の遊びを知らせたり、お互いの思いを代弁したりする。</p>		<p>保育教諭や友達と一緒に、体を使って遊ぶ楽しさが感じられるように</p> <p>◇ソフトブロックを出して遊べるように広いスペースを用意しておく。</p> <p>◇異年齢での関わりがもてるように、登園後に園庭で遊ぶ。</p> <p>○固定遊具 ○乗り物 ○砂場遊び ○ソフトブロック</p> <p>☆安全面に配慮し、保育教諭も一緒に遊びながら、体を動かす楽しさが感じられるようにする。</p> <p>☆動きが活発になるため、危険のないように見守りながら、遊び方も知らせていく。</p>
---	--	---

月日	11月18日(月)	11月19日(火)	11月20日(水)	11月21日(木)	11月22日(金)	11月23日(土)
週行事	百日の集会に参加(ほう)(マラソン・パプリカ)	支援室	支援室	支援室	遊戯室で表現遊び(ほう)	勤労感謝の日
みんなで遊ぶ	戸外で遊ぼう(異年齢児と遊ぼう)	ミュージックケアをしよう	遊戯室で歌を歌おう	マラカスでリズム遊びをしよう	戸外で遊ぼう(異年齢児と遊ぼう)	
ねらいに対する評価	自分が遊びたい物を指差しや「こっ(こ)」「黄色?」「うん」と色を尋ねると返事をしやり取りで思いを伝えられることができた。			保育資料	○歌・手遊び(どんぐりころころ・げんこつ山の疋めきさん・あわせなら手をたたこう) ○絵本(月刊絵本・おおかみと7匹のこやき・おにぎりくんがね)	

、戸外遊びでの発見や異年齢児の関わりでの学びが、観察・リレーの活動を通して、遊びも発展させていくと友達共有の言葉のやり取りがやり取り。

【6月第3週】 6月16日(日)～6月21日(金)

●水や砂等の感触を味わいながら、夏ならではの遊びを楽しむ。
(水や～、楽しく～)

○予想される活動 ☆保育者の援助 ●環境の構成

期のねらい

- 生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。
- 教師や友だちと一緒に生活することに慣れ、安心して活動ができるようになる。
- 水や砂の感触を楽しみながら、興味を持つ。
- 楽しく体を動かして水の気持ちよさを感じ、プール遊びを楽しむ。

先週までの子どもの姿

- 電車ごっこやしっぽ取り等、気に入った遊びを繰り返し楽しんでいる。
- プールに入ることを楽しみにしている。
- 友だちのしていることに興味を持ち、「いれて」「いいよ」と言い、一緒に遊ぼうとする姿が見られるが、玩具や場を巡ってトラブルになり、手が出ることもある。
- 砂や水を使って泥遊びを楽しんでいる。
- 砂場では裸足になって遊ぶと気持ちがいいことが分かり、すすんで裸足になり、土の冷たさを肌で感じている。
- 虫や草花、飼育物等に興味を持ち、見たり触れたりしながら身近な自然に関心を持っている。
- 朝顔の生長を喜びながら、水やりを行っている。
- 紙芝居を通して七夕について知り、七夕飾りを楽しんで作っている。

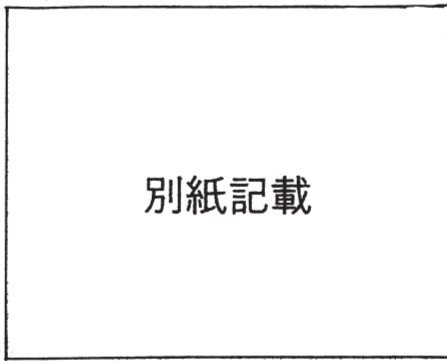
週のねらい

- ・身の回りのことを自分でしようとする。
- ・教師や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- ・水に触れて遊ぶことを楽しむ。
- ・七夕の行事に興味を持つ。

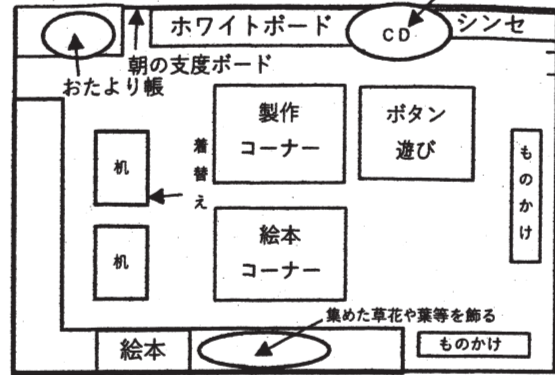
経験内容

- ・水着や衣服の着脱を教師に手伝ってもらいながら行おうとする。
- ・同じ遊びをする友だちとの関わりを楽しむ。
- ・プールでの約束事を知り、水の気持ちよさを味わう。
- ・七夕に向けた製作を楽しむ。

●環境構成(自由遊び)



●環境構成(教室)



別紙記載

- 水着や衣服の着脱を自分でしようとする。
- ☆自分でできたところを認め、難しいところは、さりげなく援助をして「できた」という喜びが味わえるようする。
- 身支度の手順がわかるように、絵を掲示しておく。 6/20 電車ごっこでは、色々な遊び場を巡り乗り降りを楽しんでいる。
- 戸外遊びを楽しむ。(砂場・しっぽ取り・電車ごっこ等) 遊び場から遊び場へいくことだけでなく、それまでの道のり(狭い道、たいこ橋のトンネルなど)を楽しんでいる。
- 遊ぶ場所の安全を確認や遊びによく使うものを用意しておく。 フープを肩にかけ→シャベル、砂で作ったごっこを作った子
- 水遊びをする。6/20 水遊びの玩具を出す、数が限られており遊びたいもので ●見→電車には乗っていないのに
- ☆子どもの体調管理や安全に気を付ける。遊べない子が多い。 「電車ごっこ楽しかったなあ、又やろうな」
- 安全に水遊びが楽しめるように、水量を少なくする。●水遊び用の玩具を用意しておく。 →泥団を作ったり電車と並走していた
- 水遊びの壁面作りをする。(共同製作) (霧吹き遊び・絵の具・パス) 6/9 霧吹きを水鉄砲に見立て遊ぶ。霧吹きて着色した後
- ☆一人ひとりの表現を大切にしながら、のびのびとお絵かきを楽しめるように見守ったり、声かけをする。絵の具を手で舐めたり遊ぶ
- 遊びに応じてブルーシートや新聞紙を敷く等、片付けやすいようにする。6/20 霧吹きて着色したものを 子がいる。
- 七夕飾りを作る。(朝の自由遊び) プールに見立て、自分や教師の
- ☆子どもの作りたいものが作れるように、必要に応じた声かけをする。 顔を描き、水遊びをしている
- イメージがわかりやすいように、織姫と彦星の紙芝居を置いておく。 ところを表現する。描いていくうちに

16日(日)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)
○自由遊び(～9:20) <日曜参観> ○全体朝礼 ○七夕飾り製作 (9:55～10:35) ○降園(10:50～)	(～9:25) ○全体朝礼 ○絵本「こぐまちゃんのみずあそび」 ○水遊び (10:40～11:20) ○英語 (13:30～14:00)	(～9:25) ○立腰朝礼 ○壁面製作 (霧吹き遊び) ○戸外遊び 七夕飾り製作 ○貸出絵本	(～10:00) ○クラス朝礼 ○水遊び (10:40～11:20) ○壁面製作 (水遊びをする自分やお友だちを描こう)	(～10:15) ○身体測定 ○クラス朝礼 ○壁面製作の続き ○七夕飾り製作 ○奉仕作業 ○絵本 「くまんとんしや」

★5つの力の育ち

やうごくか・人とかかわる力や
電車ごっこでは客が乗り降りすることに加え、狭い所に入ったりたいこ橋のトンネルをくぐったり、木のまわりをぐるぐる回る等、道中を楽しんでいる。又、電車には乗らないが、それぞれの遊び場でははん作り・ケキ作りを楽しんでいる子たちが、電車が停まると食べさせてくれたり「また来てね」と言う等、自分の好きな遊びをしながら関わりを楽しんでいるようである。

★ねらいに対する評価

・水遊びに行くための身仕度の仕方が分かるようになり、自分でしようとしている。
・電車ごっこでは興味を持った子が参加し、乗り降りを楽しんでいる。電車ごっこで、電車には乗らないが、砂場でごっこを作った教師が電車で来るのを待ったり信号機になる等、様々なかたちで教師や友だちと関わろうとしている。
・水遊びの玩具を出す、とても喜んで数がに限りがあったり、力が足りず水鉄砲が使えない子が多い。

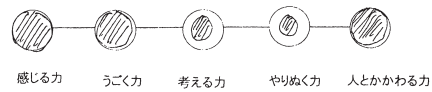
園長	教頭	教務	担任

5歳児(Ⅱ期)

【10月第1週】	9月30日(月)～10月4日(金)	おひさまタイム時の遊び(予想される遊び, ○子供の姿, ●環境の構成, ●教師の援助)			
期のねらい	<p>○体を十分に動かして遊ぶ中で、自分の力を発揮する心地よさを味わう。</p> <p>○考えを伝え合ったり、折り合いをつけたりしながら、共通の目的に向かって、友達と一緒に遊びや活動を進める楽しさを味わう。</p> <p>○身近な自然に興味、関心をもち、考えたり、試したりして遊びに取り入れて楽しむ。</p> <p>○生活の流れに見通しを持ち、自分で考え行動しようとする。</p>	(室内)	(室外)		
先週末までの子供の姿		<p>ラキュー</p> <p>(絵本コーナー) ○マットの上で絵本読むものの片付けが上手くできない。 ●園の絵本と借りてきた図書を区別して置く。</p> <p>絵本</p> <p>(製作コーナー) ○段ボール等の身近な素材を使って家づくりをしている。 ●つくった物を保管し継続して遊べるように保管場所を設ける。 ・はさみやのりなど製作に必要なものを準備する。</p> <p>製作</p> <p>遊戯室</p> <p>職員室</p> <p>ひかり</p> <p>ひまわり</p> <p>こすもす</p> <p>くら</p> <p>倉庫</p> <p>倉庫</p> <p>砂山</p> <p>煙</p> <p>(楽器コーナー) ●樽太鼓を用意し、子供が好きなリズムで叩いたり発表したりできるようにする。 ・スティックを自由に持ち出せるように用意しておく。</p> <p>(生き物探し) ○バクテリアやカエルなどの生き物を見つけて虫籠に入れて観察する姿が見られている。 ●虫籠を用意して何の幼虫なのか具体的に名前が子供自身が調べることができるようににする。 ・子供と一緒に観察をし、生き物の特徴に気付かせるような言葉かけをしたり、図鑑を示して生き物について調べることができるようになる。 ・クラス内でオリジナルの虫籠をつくることで生き物への興味や知るとする意欲を高めている。</p> <p>(色砂遊び) ○目の細かいふるいを使ってサラ粉つくりをしている。 ●ペットボトルを準備してつくった色砂を色ごとに分けて入れて、何色の砂があるのか見て分けるようにする。 ・色水遊びの経験から知った色のつくり方について声をかける。</p> <p>(砂遊び) ○砂に穴を掘ったり、水を流したことでできた水の流しに浴槽で掘ることのできる川をつくっている。 ●砂遊びの道具を十分に準備する。 ・安全な道具の使い方、片付け方について声をかける。</p> <p>黒板</p> <p>藤棚</p> <p>砂山</p>			
週のねらい	<p>砂絵など大きな作品を友達と一緒につくることを楽しんだりつくる中で、友達とトラブルが起きても自分自身の中で折り合いを付けたり友達同士で相談をしたりしていた。</p> <p>○遊びをより楽しくするための方法について考え、実現しよう挑戦することを楽しむ。</p> <p>○自分の思いや考えを、相手に分かるように伝える。</p>	<p>30日(月)</p> <p>砂場遊び・製作遊び・自然物を利用したままごと・三輪車 ラキュー・絵本</p> <p>楽器遊び 曲に合わせて楽器を鳴らす。</p> <p>生き物探し</p> <p>色砂遊び ふるいを使ってサラ粉をつくる。</p> <p>1日(火)</p> <p>マイクで練習!</p> <p>2日(水)</p> <p>家づくり たいやんぱん! かたてのこねこね</p> <p>動物の観察 ふくやまの観察</p> <p>3日(木)</p> <p>お家の中をのぞいてみる お肉や野菜を洗ってみる</p> <p>お家の中をのぞいてみる お肉や野菜を洗ってみる</p> <p>4日(金)</p> <p>お家の中をのぞいてみる お肉や野菜を洗ってみる</p> <p>準備物: (室内) 絵本, 製作 (戸外) 砂場玩具, 生き物探し, 川つくり, 色砂つくり</p> <p>週のお歌: 「とんぼのめがね」「おどけなんてないさ」「まつぼっくり」「どんぐりころころ」「むしのこえ」</p>			
振り返り	<p>発表会に向けての曲を午後のおひさまタイムで流した。鈴やマラカス、タンバリン、カスタネット等曲に合わせて鳴らしたり楽しそうにダンスをしたりしていた。運動会と共に発表会の曲もおひさまタイム等の時間に流すことで、本番に向けて少しずつ準備していきたい。</p> <p>それぞれの色砂を皿に乗せ、ままごとをしていた。赤と緑の色砂を使い「見て!イチゴ!」と嬉しそうに表情で友達や教師に見せていた。また、泥団子つくりでも色砂を使っており「お団子の中に紫を入れたのよ!」と紹介をしていた。泥団子はその後、振り回しの中で紹介をして友達から「団子の中にあんこが入ってるみたいだね。」と話し合う姿が見られた。</p>	<p>おひさまタイムに段ボールを使って家を作った。以前までは、段ボールをテープで繋げて丸く囲んだ形の家だったが、今回は段ボールそのものを活かして扉をつくりたり段ボールカッターで穴を開けて窓をつくりたりして、これまでの製作遊びから発展している印象を受けた。窓には、画用紙を蛇腹状に折ってつくったカーテンが取り付けられており、家の内装までこだわっていた。</p>	<p>砂場全体を使って裸足になって川つくりをしていた。ダムや堤防、島などジオラマのように次々と展開していた。また、「そこ、危ないよ。気を付けて。」「ここ、揺るからこれ片付けてもいい?」など友達同士での声のかけ合いや相談をする姿が印象的だった。貝堀りを使って細かく模様をつけたり大きなスコップを使ってダイナミックに楽しんでいた。</p> <p>ブラタナスの葉についている蜂の巣を見つけた。蜂の巣の中には蜂や幼虫はいなかったが、どうすれば巣を撤去できるのか話し合っていた。貝堀りを持ってジャンプをしたり台を持ってきて葉っぱに手を伸ばしたりして試してみる姿が見られた。教師が葉を切った後は、じっと観察をして匂いを嗅ぎ、「蜂の巣の匂いがするはずなのに全然しない。」と少しがっかりした様子だった。</p>		
行事	<p>☆自分なりの言葉で遊んだことについて伝えることができ、その遊びについて友達と話し合うことができた。</p> <p>☆集団で相談したり「危ないよ、気を付けて。」と声を掛け合いながら大きな川をつくっていた。</p>	<p>★運動会の練習を最後まで集中して取り組んだり、何度も練習を繰り返したりしてやりきることができた。(やりぬく力)</p> <p>★段ボールの形を活かしながら扉や窓、内装に工夫した家づくりをしていた。また、遊ぶ人数が増えたことで段ボールを繋げて製作物を大きく広げ、人数に合わせた家の大きさをつくる様子が見られた。(考える力)</p>			

【 週・日指導計画 】

年主題： ことばに満たされて
～ひびきあう～
月主題： 共感する



園長	副園長	主任	担任
----	-----	----	----

【 (1月第5週) 11月25日(月) ~ 11月30日(土) 】

◎予想されるあそび ・保育者の援助 △環境構成

期のねらい
友だちと一緒に共通の目的に向かって遊びを進め、楽しさを味わう。
友だちと遊ぶ中で、自分の思いを表現したり、未知言葉や動作を意識しながら遊ぶ。
秋の自然に清秋感を取り入れて遊ぶ。

◎「プレゼント」エネ手に向け
年長児は、車モデルの練習に楽しんで参加する。
年中児は、年長児の歌を聞き、昨手を思い出して、歌う姿がある。
年少児は、「クリスマス」という言葉に「少はう」興味を湧かせて、真似て歌うことを喜ぶ。

先週の子どもの姿と保育者の願い
美術館には、レストランを当日に食べに来ることを楽しむ子どもが多い。店員役の子どもは、美術館のイメージを、作品を丁寧に並べていたり、そうじをしていたり。客役、店員役、それぞれ楽しんでいる。
年長児は、早稲刈りに対してのことから、9人全員で言画を立て、石焼き芋やカステラを作ることとする。9人でトラックを手作り始めている。思いの違いが伝わらなったり、「やばい」と言う子どももいるが、お互いフォローして、話し合い、進めようとする。
プレゼントが11月、クリスマスの装飾歌を口ずかし、楽しみに待っている子どもが多い。

◎「お外あそび」
鬼ごっこを大人気で楽しんでいる。年少児と一緒に逃げ回ることが楽しくなっている。
異年齢の動物を演じている。大人も一緒に入ることによって年少児を思い入れしているため、引手も楽しんでいる。引手も一緒に感じていく。

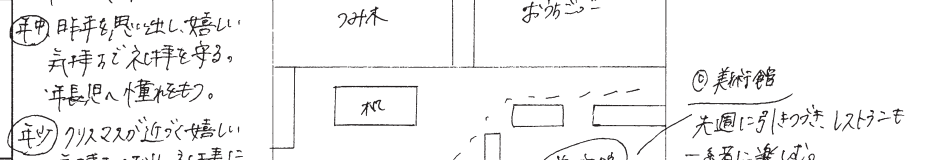
今週のねらい
友だちとプレゼントを出しあったり、受け入れたりしながら遊ぶ。衣服の調節を自らしめたりする。
自分の好きなものを調理して食べることを喜ぶ。

◎「プレゼント」エネ手に繋げる
各学年別に姿の違う、一つ一つの嬉しい気持ちや、プレゼントエネ手に繋げる。

日付	25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	29日(金)	30日(土)
----	--------	--------	--------	--------	--------	--------

◎「プレゼント」の意味がわかる。
伝える気持ちを手手。
◎「お外あそび」
年中 昨手を思い出して、嬉しい気持ちでエネ手を守る。
年長児も憧れをもつ。
◎「クリスマス」
年少 クリスマスの近づく嬉しい気持ちになり、プレゼントを追加する。
◎「お外あそび」
座って話を聞ける引手は出てきている。できたことを言葉で自信に繋げていく。

今日のねらいと内容	友だちとプレゼントを出しあったり受け入れたりしながら遊ぶ。衣服の調節を自らしめたりする。	友だちとプレゼントを出しあったり受け入れたりしながら遊ぶ。衣服の調節を自らしめたりする。	衣服の調節を自らしめたりする。	静かな美車づくりを手を守る。	プレゼントエネ手へ嬉しい気持ちを伝える。	
-----------	--	--	-----------------	----------------	----------------------	--



あそび活動生活	0 年長 年長(13) (9:30~) 0 室内あそび 美術館、レストラン、つみ木、石焼きカマド、など 0 外あそび 鬼ごっこ、乗り物など	0 年長 年長(14) (9:30~) 0 室内あそび 美術館、レストラン、つみ木、石焼きカマド、など 0 外あそび 鬼ごっこ、乗り物など	0 年中 キー(焼芋) (9:00~) 0 クラッシュ(11:00~)	0 プレゼントエネ手 (9:30~) 0 クラッシュ (11:00~)	0 プレゼントエネ手 (9:30~) 0 クラッシュ (11:00~)	0 月曜のあそび 合同保育
---------	---	---	--	--	--	------------------

◎「美術館」
大園に引付きた、レストランも一緒に楽しむ。
店員は、そうじをして、新しい作品を並べたり、美術館のイメージを大切にしている。
客役にはあまり美術館のイメージを表現していない。
・作品も見えれば、姿をモデルとして見せる。
・店員には作品を見たい思いがあるため、どうして見せてあげるかを考える。

さんびかうた わらべうた えん	プレゼントの装飾歌 やばいかいてんは、さんびかうた					
-----------------------	------------------------------	--	--	--	--	--

◎「クリスマス」
年長、年少児も一緒に焼芋作りをする。
＊別紙テキスト参照
↓
◎「石焼き芋作り」
作った芋を車に売り歩く。
・自分で考えたことを再現して楽しんでいる。

今日の評価 次の日に繋がる援助	年長児は、登園するたびに石焼き芋作りを話している。思いの違いが伝わることで、大人も入って一緒に話そうことを前向きにしている。 年中児は、友だちの作りを見て、空想や想像を共有する。装飾歌を喜ぶ歌う。	石焼き芋作りには、準備から片付けまで年長児で追加している。装飾歌を口ずかし、子どもたちが、お外あそびの歌を歌う。 年少児は、木の飾りを作ることが楽しかった。お外あそびも楽しんでいる。年長児の芋を食べて、お外あそびも楽しんでいる。	年長児は、車の乗り方を話している。一人の思いが、強く女の子が意見がまならない姿があった。最終的に、一人の乗り方を決めた。 年中児は、車に乗って遊ぶことを楽しんでいる。年長児の芋を食べて、お外あそびも楽しんでいる。	プレゼントエネ手作りは、リールに追加する。年長児は、見せる喜びを感じ、笑顔で歌う。 年少児は、普段とは違う形の子に、興味をもち守る。明日を準備して、迎える準備がある。	朝、保護者の方が園に見に来てくださることを喜ぶ。夕方を楽しんでいる。 ・プレゼントの歌やプレゼントの歌を口ずかしている。 ・年少児は友だちのプレゼントを、楽しんでいる。	0 月曜のあそび 参照。
--------------------	---	---	---	--	--	-----------------

◎「石焼き芋作り」(年長)
年長児9人で焼芋を売る石焼き芋作りをする。思いの違いが伝わることを大切に、お互いに主張している。上手に進んでいくように、年少児も一緒に乗り越えようとする。
・お外あそびの時、プレゼントを出しあえるようになって、楽しいという思いがあるため、2人で作業をする時間を意識的に作り出す。

出欠数	出 欠 病 休 停 忌	出 欠 病 休 停 忌	出 欠 病 休 停 忌	出 欠 病 休 停 忌	出 欠 病 休 停 忌	出 欠 病 休 停 忌
-----	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

今週のねらい・遊びの振り返り	年長児は、石焼き芋作りを楽しんでいる。お互いにプレゼントを出すが、ぶつかることも多く、(1月)同じ子どもが譲り歩いた。大人も介入し、譲られる子どもの気持ちと、代母の同じで、同じ子どもは、思いを聞いて、譲り歩いた子どもも相手の気持ちを知ることができている。
----------------	---

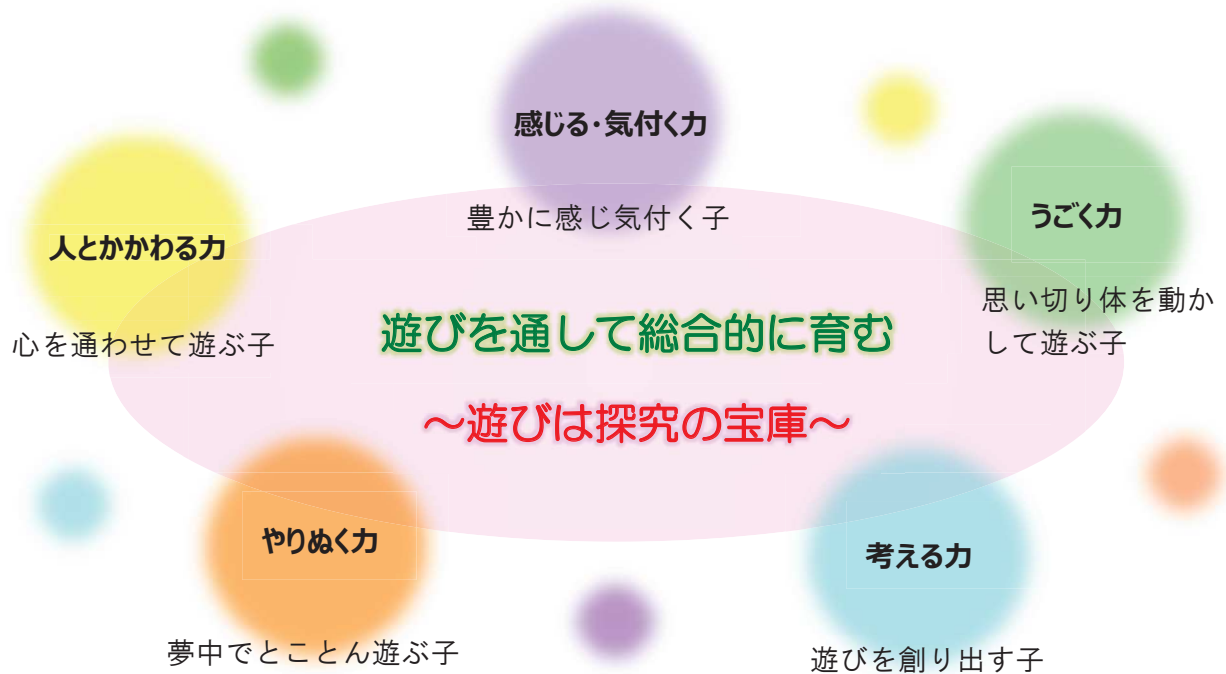
個人記録

週のあそびから見えた5つの力の育ち	0 石焼き芋作り ・A児が自分の思いの発信が難しく、思いの通りかた、嫌な思いを、その場から離れてしまう。他の子どもは、その場に来ていて、気持ちよく言葉と向き合っていく。(人と関わり、感じる力、うごく力、考える力)
-------------------	---

おわりに ～乳幼児期に育みたい5つの力の見取りを通して～

遊びの中の子供の姿から出発したカリキュラムを園・所等で実践していくと、様々な場面において、乳幼児期に育みたい5つの力の育ちが、子供たちの姿から見えてくることと思います。

それらをもとに、先生方の保育におけるそれぞれの気づきや願いを共有していくことで、今後の実践がより豊かなものとなり、目の前の子供たちの願いを叶えるカリキュラムにつながっていくことを願います。



◆カリキュラム開発ガイドブックの作成に御協力いただいた先生方◆

このガイドブックの作成に当たり、多くの実践を積み重ね、カリキュラムの改善に御尽力いただきました研究開発指定園の先生方、そして、御指導いただきました有識者の先生方に、心より感謝いたします。

研究開発指定園の先生方

尾道市立因島南認定こども園

学校法人 IGL 学園 サムエル信愛こども園

学校法人三光学園 千鶴幼稚園

東広島市立御園宇幼稚園

御指導いただいた先生方

新見公立大学 特任教授，福山市立大学 名誉教授 高月教恵 先生

広島大学大学院 准教授 中坪史典 先生